

5月臨時会

市議会の新体制決まる

議長に富田氏、副議長に深山氏を選出

5月臨時市議会が5月13日に開かれました。この臨時会で議長、副議長をはじめ、各常任委員会や特別委員会の構成などが決まり、市議会の新しい体制がスタートしました。また、監査委員選任の議案2件を可決、訴えの提起などについて市長専決処分を行った報告3件を了承しました。



新議長のもとで行われた副議長選挙

5月13日に開かれた本会議では、議長選挙と副議長選挙を行いました。

投票の結果、議長には富田賢治議員(民主連合)

を、副議長には深山昌明議員(真誠会)を選出しました。

また、議員の中から選任される2名の監査委員には、辰巳浩司議員(政和会)と寺井吉広議員(真誠会)を選任することに同意しました。

このほか、総務、文教厚生、生活文化、建設企業、再整備等特別委員会の各

多くの声を市政に反映できる議会を目指して



議長
とみ た けん じ
富田賢治

在職7期。議長、副議長、監査委員、経済民生常任委員長、交通安全対策特別委員長、議会運営委員長など歴任。66歳。



副議長
ふか やま まさ ひこ
深山昌明

在職2期。監査委員、生活文化常任委員長、総務常任副委員長、平成23年度決算審査特別副委員長など歴任。62歳。

このたび、私たちは議長ならびに副議長に就任いたしました。このような要職に就かせていただきましたことを光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しております。

よう市長等の執行機関と真摯な議論を重ね、円滑な議会運営のもと、市民のためのまちづくりを引き続き進めてまいります。

本市は、現在子どもを核としたまちづくりを進めるとともに、明石駅前再開発事業や中学校給食など市民の皆様からのさまざまなニーズに応えながら施策を展開しております。一方でこれらの新規事業に加え、少子高齢化の進展などによる社会保障関係経費の増加にも直面しており、財政の健全化を大きな課題として取り組んでおります。市議会としましては限られた財源が最大限有効に活用される

また、市議会では、議会基本条例を4月から施行し、議会の活性化と市民に開かれた議会を目指して、議員一人一人が気持ちを新たにしているところです。これまでに以上に市民の負託に応え、多くの声を市政に反映できるよう努めてまいります。

今年、明石市にとって市制施行95周年の節目にあたります。市議会としても、本市の発展と市民の幸福実現に全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今年、明石市にとって市制施行95周年の節目にあたります。市議会としても、本市の発展と市民の幸福実現に全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

明石ケーブルテレビ

市議会アワー

111ch たこチャンネル
717ch ミルルチャンネル

「新議長、副議長、委員長に聞く」

富田議長と深山副議長や4つの常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員長が今後取り組むべき課題や抱負を語ります。

放送日時
6月9日(月)～15日(日)
午後8時～8時30分



委員および委員長、副委員長を選任しました。(新しい委員会の構成は2面に掲載)

今回の臨時会では、これらの議会役員選任のほか、市長専決処分の報告3件を了承しました。



監査委員
てら い 浩 じ
辰巳浩司

在職2期。文教厚生常任委員長、平成21年度決算審査特別委員長など歴任。56歳。



監査委員
てら い 吉 ひろ
寺井吉広

在職1期。中心市街地再整備等特別副委員長、総務常任委員など歴任。50歳。